

平成25年第4回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成25年4月9日（火）

午後1時30分開会

開催日時	平成25年4月9日	開会 1時30分 閉会 2時15分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員 長 伊藤 恒子 委員長職務 代理者 鮎川志津子 委 員 高木 裕	委 員 宮本 誠 教 育 長 津幡 道夫	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 天野 建司 生涯学習部長兼 図書館長事務取扱 西田 剛 生涯学習課長 天野 文隆 庶務課長 関 次郎 学務課長 前島 賢 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 神田 恭司	指導主事 川崎 岳彦 指導主事 平田 勇治 国体推進担当課長 尾崎 充男 図書館長補佐 上石 弘美 公民館長 大関 勝広 庶務課庶務係長 倉澤 亮	
調 製	佐藤 菜穂子		
傍聴者 人 数	2名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 平成 2 5 年度教育委員会の主な事業について 2 平成 2 5 年度学級編制について 3 寄附の収受について 4 小・中学校教育管理職及び職員の異動について 5 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定につ いて 6 平成 2 5 年度研究奨励校等について 7 図書館運営方針改訂版の策定について 8 その他 9 今後の日程

伊藤委員長

皆様、こんにちは。

ただいまから平成25年第4回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日は、宮本委員と鮎川委員にお願い申し上げます。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊藤委員長

日程第2、報告事項を議題とする。順次、担当からご説明をお願いする。

まず、報告事項1、平成25年度教育委員会の主な事業についてお願いする。

天野学校  
教育部長

平成25年度教育委員会の主な事業についてご説明する。

初めに私から総括的なお話をさせていただき、具体的な施策は各担当よりご説明させていただきたいと思う。

平成25年度小金井市一般会計当初予算は、危機的な財政状況の中、前年度繰越金5億円、財政調整基金の取り崩し5億5,000万円、臨時財政対策債約6億3,000万円で不足する財源を確保し、総額371億6,500万円で、対前年度2億2,000万円、0.6%増となったところである。そのうち、教育費全体では42億2,247万5,000円、対前年度約7億4,000万円、21.4%の増となっている。その主な要因は、社会教育費で約7億1,400万円、109.9%の増となっており、(仮称)貫井北町地域センター建設に要する経費、スポーツ祭東京2013事業等において増加しているところである。

学校教育部が所管する教育総務費、小学校費、中学校費で見ると、合計で、対年度、約4,000万円の減となっている。主な要因としては、工事請負費において平成25年度は、小学校で非構造部材改修工事、給食機器設置に伴う設備工事が小・中学校で予定されているが、小学校給水設備改修工事3校、前原小学校運動場芝生整備工事、第一・緑中学校特別支援学級設置のための整備工事などが皆減となったことなどによるものである。

予算の概要については以上である。

個々の具体的な事業については、庶務課から説明のほうをお願いする。

関庶務課長

庶務課の平成25年度の教育委員会事業について、特に学校施設にかかわる事業について報告する。

まず、小学校であるが、非構造部材改修工事として、第一小学校、第二小学校、前原小学校、本町小学校、緑小学校の避難経路に面した部分の窓ガラスの強化改修工事を行う予定である。この5校を行うことで、避難経路に面した部分の窓ガラスの強化対策については全校終了することになる。児童・生徒のための快適な教育環境づくりはもちろんのこと、いざ大地震などが発生した際の地域の防災拠点ともなることから、非構造部材の耐震化については今後も充実させていく考えである。

給食室の改修工事として、第三小学校の給食室にはアレルギー用調理台を導入するに当たっての電気や配水などの附帯工事を行い、第四小学校、前原小学校、緑小学校の給食室にはそれぞれコンベクションオープン及び炊飯器を導入するに当たっての電気や配水などの附帯工事を行う。

また、給食室内に火災予防の観点から不燃区画を形成するための防火区画改修工事を、第一小学校、東小学校、緑小学校、南小学校で行う予定である。

次に、中学校である。

ここで、申しわけない。本日、報告事項1でお配りした資料にちよっと訂正がある。給食機器設置に伴う設置工事の、括弧書きで今、二小と緑中とあるが、二小ではなくて、二中の誤りである。申しわけないが、訂正をこの場でお願いしたいと思う。大変申しわけなかった。

給食室の改修工事として、ボイラー、アレルギー用調理台及び炊飯器を導入するに当たっての附帯工事を第二中学校及び緑中学校で行う予定である。

第一中学校では不燃区画を形成するための防火区画改修工事を行う予定である。

第二中学校では老朽化が著しいプール循環ろ過装置の改修工事を行う予定である。

庶務課については以上である。

前島学務課長 引き続き、学務課から説明させていただく。

1 段目、2 段目、緊急雇用創出事業である。25 年度も 2 件の緊急雇用創出事業を予定している。引き続き、巡回警備と通学路の安全点検を委託することとした。四小学区の踏切付近については、JR 中央線高架化に伴い交通量も増し、道路の形状からも現状では信号機の設置が難しいこともあり、引き続き交通誘導員警備委託という形で警備員を配備し、登校時の安全指導及び安全確保に努めることとした。

続いて、小・中一緒に説明させていただく。3 段目、6 段目、7 段目の GHP エアコンのリース契約である。小学校では、あかね学童保育所の改築に伴い、小金井第三小学校のエアコン設置済みの普通教室を学童保育で使用する。そのため、新たに普通教室として三小が使用する教室にエアコンを設置する必要性が生じたので、措置している。中学校のほうにいくと、6 段目、7 段目である。こちらは、第一中学校、緑中学校に新設する特別支援学級に設置するものである。12 月議会で債務負担行為を設定し、既に設置という形となっている。また、第一中学校の 2 年生の教室に設置する必要があることから、学級増というものが確定したのものとして当初予算に計上したものである。

続いて、周年行事に要する経費、4 段目である。こちらは、平成 25 年度は第一小学校が 140 周年、南小学校が 40 周年を迎えることから、周年行事にかかる消耗品、郵便料、記念品や記念誌の印刷製本費を計上させていただいている。

最後である。学校給食に関するものとして、5 段目と 8 段目になる。中学校の民間委託により生み出された財源をもとに、強化磁器食器への切りかえを順次行っているが、給食室の改築等をしないと強化磁器食器が導入できない第一小学校、本町小学校以外は、全て強化磁器食器は導入済みとなっている。したがって、平成 25 年度については消耗品の計上はしていないところである。平成 25 年度は、大型備品等に関しては食器消毒保管庫、アレルギー対応食の調理場の確保のためのボイラーの外出し、アレルギー用調理台を導入し、安全なアレルギー給食の提供のため、備品等の整備をする。また、献立の充実のため、スチームコンベクションオープン、米飯給

食の推進のための立体炊飯器の導入を計画どおり進めてまいる。今後も長期的な計画を含め、給食の改善に努めていきたいと考えている。

雑駁であるが、以上である。

河合指導室長 指導室のほうから5点報告させていただく。

まず、第1点目、スクールソーシャルワーカー謝礼である。本市においては、虐待やいじめ・不登校の未然防止及び問題行動がある児童・生徒を取り巻く環境の改善を図るため、平成22年11月より緊急雇用創出事業により市内にスクールソーシャルワーカーを配置して学校を支援してきた。この緊急雇用創出事業は平成24年度末で終了することから、平成25年度には指導室の一般財源を活用して2名のスクールソーシャルワーカーを配置して充実していくということになる。

続いて、第2点目の中学校授業武道外部指導員謝礼についてである。中学校の武道指導員については、平成24年度より新しい学習指導要領の完全実施に伴い、中学校の全生徒が武道必修化となった。市内で行われる柔道授業の安全確保に向けた指導の充実を図るため、新たに各学級に5時間の外部指導者の予算を取って、平成24年度、また25年度と配置したところである。

第3点目である。特別支援学級非常勤嘱託職員報酬についてである。平成25年度から新たに小金井第一中学校に知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2つの固定学級を設置した。このことから、これまで市内に7人いた介助員を、新たな小金井第一中学校での2学級の対応を図るため、2名増やして9人とし、配置の充実を図ったところである。

第4点目である。特別支援教育支援員非常勤嘱託職員報酬についてである。教育支援員は、発達障害など特別な教育的支援が必要な児童・生徒の日常生活や学習生活上のサポートの充実を図るため、これまでの4名体制から5名体制として学校支援に一層努めるために配置したところである。

5点目の作業療法発達検査委託料についてである。特別支援学級において児童・生徒の生活機能・運動機能に対して、これまでは言語機能検査を実施してきたところであるが、子どもたち一人一人の状況が異なり、さまざまな角度からその状況を的確に把握すること

が子どもたちにとっても必要となってきたため、この言語機能検査の回数を半減させ、新たに作業療法発達検査を導入した形とさせていただきます。

指導室としては以上である。

西田生涯  
学習部長

引き続き、生涯学習部である。生涯学習部のほうは、私のほうから統括的にご説明して、補足がある場合は各担当のほうから説明をさせていただきます。

資料のほうに書いてあるが、私ども生涯学習部としては、主に大きく言えば4つの柱ができており、それに向けた予算を今回は組んでいる。

まずは、スポーツ祭東京2013、第68回国民体育大会における弓道競技及びバスケットボール競技の円滑な開催に向けた準備ということで、いよいよ本大会が25年度ということになったので、市民協働、全庁協力による取り組みを進めていくということで、幾つかの予算を取っている。主な例としては、緊急雇用創出事業・震災等緊急雇用対応ということで、国体業務支援事業で雇用創出2名という形で行っている。また、スポーツ祭東京2013に要する経費ということで、これはまさに本大会そのものの競技を実施するための費用その他に使われるものである。その他、一中クラブハウス談話室のエアコン改修、ジュニアバスケットボール教室の運営委託、大体育室照明器具改修といったようなものについても、スポーツ祭東京2013に関連をして行っていくような事業となっている。

そして、市制60周年に向けた市史編さんを現在行っており、そういったものに関する経費についても生涯学習課のほうで予算を取っている。

そのほか、大きなものとして、図書館、公民館共通であるが、(仮称)貫井北町地域センターが平成26年度4月開館予定という形になっており、それに向けた工事あるいは準備作業等の予算を取っているというように本年度は活動をしていこうという形になっている。

では、補足説明があったら、生涯学習課長のほうから順次よろしくをお願いします。

天野生涯

生涯学習課のほうから1点だけ補足をさせていただきます。

学習課長                    こちら、予算の所管が道路管理課になることから資料のほうに記載がないが、名勝小金井桜復活プロジェクトに要する事業というのがある。玉川上水に、場所としては都立小金井公園の入り口正面あたり、歩道橋がかかっているところがあるが、そちらを撤去して、平面交差の人道橋に架けかえるという工事を予定している。平成25年度には歩道橋を撤去して、平成26年度に新しい橋をかけるという予定になっているので、1点だけ補足をさせていただく。  
あとは特にない。

伊藤委員長                1の主な事業についてあったが、何かご質問はあるか。

鮎川委員長  
職務代理者                幾つか質問があるが、1つずつのほうがいいか。

伊藤委員長                幾つでも。

鮎川委員長  
職務代理者                まず、1つ目の質問である。学務課のGHPエアコン借上料その2である。第一中学校普通教室が増加しているということでこちらに掲載されていると思う。第二中学校でも学級数が増加しているが、こちらは既存の教室であいている教室があるのか。それとも、特別支援学級が1学級減ったのか。そこを教えていただきたい。お願いします。

前島学務課長              二中については、既存のエアコンを使用することで、うまく教室を活用していただくことになっているので、学級増のためのエアコンの増設というのはなくて大丈夫だということである。

鮎川委員長  
職務代理者                わかった。ありがとう。

伊藤委員長                続けてどうぞ。

鮎川委員長  
職務代理者                全部で3つあるうちの2つ目である。  
学務課の1つ目の緊急雇用での小学校の巡回警備、通学路の安全点検などについて、もう一度教えていただきたいと思う。この3人



の方はどのような形で巡回などをしていただけるのか。

前島学務課長 3人で1日1校ずつローテーションで回っていくという形になっている。登校時から下校時までの間、巡回して指導等に当たっているという形になる。

鮎川委員長  
職務代理者 昨年度伺ったお話では、南小学校の不審者対策で武蔵野公園のあたりにも警備の方が巡回してくださるといようなお話もあったと思うが、それは毎日ではなく、週に何日か巡回してくださるといことか。

前島学務課長 そちらの南小のほうの監視については別途契約しており、こちらの緊急雇用創出事業での通学路安全点検は考えていない。別途契約させていただいている。

鮎川委員長  
職務代理者 わかった。すまない、混乱していた。ありがとう。

伊藤委員長 では、あと1点は。

鮎川委員長  
職務代理者 最後の1点である。  
指導室の4つ目、特別支援教育支援員を4名から5名に増やしてくださるといことであるが、この5名の方はどのようにご指導いただけるのか教えていただきたいと思う。

神田指導  
室長補佐 5名のうち、2人が小学校を担当する。それと、残りの3人の方は中学校を担当する。そして、中学校の担当のお一人の方は、曜日ごとに各学校を回り、2人の方は一中における自閉症児の学級を中心とし、二中6組とあわせて支援していくという形で配置している。

鮎川委員長  
職務代理者 わかった。ありがとう。  
以上である。ありがとう。

伊藤委員長 ほかに何かあるか。よろしいか。  
それでは、次に移りたいと思う。報告事項2、平成25年度学級

編制について願います。

前島学務課長 報告事項2、平成25年度学級編制についてご報告する。

本日、追加でお配りしている資料をご覧いただきたい。表面が平成25年度の学級編制の状況である。昨年度から届け出制となったが、学級編制としての基準日、4月7日現在のものとなっている。裏面は参考として、国立・私立等に入学した新一年生調べ、及び平成25年度通級指導学級の状況を記載させていただいている。

なお、基準日の4月7日は、7日以降に入学式がある場合は7日に読みかえることとなっており、本日、中学校の入学式が行われたため、本日の数字をもって確定し、都に報告することとしている。本日、数字が確定となったことから、当日配付となったことをご容赦いただきたく思う。

さて、本年度の学級編制状況については、東京都公立小学校・中学校教育学校前期課程の学級編制基準が改正され、小学校1年生、2年生に続き、昨年度まで中1ギャップで対応していた中学1年生も35人ということになっている。内容であるが、前年度と比較すると、小学校では通常の学級で児童数が137名減少している。学級数も5学級の減となっている。また、中学校では通常の学級で59名増加している形となり、学級数については2学級の増という形である。小学校のほうを見ると、全校で4人から27人の間で、全ての学校で減少という形となっている。20人以上の減となった学校も3校あった。通常の学級、1学級の平均児童・生徒数という形であるが、小学校では、全学年であるが、31.06人という形で、ほぼ昨年度並みという形となっている。中学校では35.08という形になっており、こちらも昨年とほぼ同じくらいという形である。

なお、小学校2年生の35人学級では5校で学級規模縮小という形で対応する形となっている。また、中1の35人学級では2校、一中と緑中が該当しているが、学級規模縮小ではなく、TTや少人数指導を活用することとし、学級数は増やしていないという形となった。

さて、特別支援学級であるが、小学校で4人減、中学校で3名の増加という形になっている。学級数としては、小金井第一中学校で2学級新設ということもあったが、小金井第二中学校の学級数が1つ減っているため、全体では1学級の増という形になっている。

なお、児童・生徒数は、在籍者からフリースクールやインターナショナルスクール、また区域市外就学といった算定外対象者を控除した数字で出している。

続いて、裏面をご覧ください。こちらは国立・私立等に入学した新一年生調べである。小学校のほうでは、本年度、49人のお子さんが国立・私立等へ入学されている。特別支援学級を除いた国立・私立に入学した割合は、平成24年度が6.3%だった。25年度は6%とわずかに減少しているのかなというところである。中学校では、国立・私立のほうへは188人が入学されている。こちらでも、特別支援学校を除いた形で見ると、24年度の20.9%から18.9%、2%ほど減少しているところである。こちらは都立一貫校に入学された方も参考までに記載させていただいているが、5人増加しているということになる。

最後に、通級指導学級の状況を記載させていただいている。第一中学校と緑中学校があって、緑中学校のほうに移ったということから、こういった表記になっているが、詳しくはご覧いただければと思う。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

何かご質問等あるか。よろしいか。

それでは、次に行く。報告事項3、寄附の収受についてお願いします。

前島学務課長

報告事項3、寄附の収受についてご報告させていただく。本日、資料を添付させていただいている。

まず、第一小学校に、うす、きね、その他もちつき備品という形のご寄附をいただいている。また、琴はシルバー人材センターから、卓球台は南中学校に寄附があった。ランドセルカバーは東京小金井ライオンズクラブ様から、下敷きは東京都トラック協会様から、それぞれ新入学児童に寄附をいただいております。今年度についてもランドセルカバー及び下敷きは学校を通して新入学児童に配付させていただいている。

簡単であるが、報告事項3についての報告を終わらせていただく。

伊藤委員長            ありがとう。  
                             よろしいか。  
                             それでは、次、報告事項4、小・中学校教育管理職及び教員の異動について願います。

河合指導室長        別紙資料、報告事項4をつくらせていただいた。1枚目については、平成25年度小金井市立学校校長・副校長の名簿の一覧である。1枚おめくりいただいて、小学校と中学校の平成25年度において異動した数である。4月1日付けの内容となっている。約80人ちょっとの人数が異動やら、また転入してきたということである。先ほど、学務のほうから報告があったが、新たに学級増もあって、現在、初任者等が少しずつ面接をしながら入ってきている状況がある。傾向としては、約半数近い初任者の者が新たに入ってきたという状況である。詳しくは名簿を見ていただけたらと思っている。  
                             以上である。

伊藤委員長            3月と4月の出入りがあったということであるが、よろしいか。  
                             それでは、報告事項5、教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について願います。

平田指導主事        教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について報告する。  
                             平成25年3月1日から3月16日にかけて、市立小・中学校14校の教育課程を受理した。配付した資料は、平成25年度教育課程まとめとなる。平成25年度は、小学校で学習指導要領の完全実施から3年目、中学校では学習指導要領完全実施の2年目となる。全小・中学校が学習指導要領の理念と明日の小金井教育プランの計画に基づき作成した教育施策、主要事業を具現化するよう、学校や地域の実態を踏まえ、創意工夫をした教育課程を編成することを指導してまいった。  
                             平成25年度の小金井市教育委員会の重点としては、「わかる・できる・活かす」授業改善の充実、社会貢献の精神の育成、体力向上の推進の3点とした。各学校の教育課程では、この3点について児童・生徒の実態や地域の特色等を踏まえ、具体的な取り組みが示されている。各学校の教育課程編成上の工夫としては、学校公開授業やセーフティー教室等、土曜日の授業を充実させ、家庭や地域と

の連携を図る学校、小金井市立学校の管理運営に関する規則に伴い、長期休業日の弾力的な運営に取り組む学校が見られる。今年度も市立小・中学校において学校の教育目標の具現化に向けた特色ある支援活動が展開されることが期待される。教育委員会としても、校長会や副校長会、教務主任研修会や学校訪問の機会を活用して、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の推進、授業時数の進捗管理、教育課程の適正な進行管理について指導していく所存である。

報告は以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

まだ十分に見切れていないところもあるが、それぞれの学校でそれぞれの工夫がされているということで、大変ありがたく拝見させていただいた。

何かあるか。

これだけだと、さっきおっしゃった土曜日に授業をなさっているところとか、長期休業中にそれなりの取り組みをなさっているところとか、始業式や終業式等の弾力的な運用とかというのがややわかりかねるが、指導室訪問や教育委員会訪問のときに、またそういった取り組みを見せていただくと大変ありがたいかなというふうに思っている。ご指導ありがとう。

ほかにあるか。よろしいか。

では、次へ移る。報告事項6、平成25年度研究奨励校等についてお願いします。

川崎指導主事

報告事項6、平成25年度小金井市教育委員会研究奨励校等について報告する。報告事項6資料をご覧いただきたい。

資料にあるように、平成25年度の研究奨励校は2校である。2年目になる東中学校は、ICT機器を活用した授業改善について2月4日に研究発表を行う予定である。本年度、新たに小金井第一小学校を研究奨励校として指定した。

続いて、「わかる・できる・活かす」授業改善推進指定校も2校である。2年目になる南中学校は、言語活動と問題解決に焦点を当て、ICTを利用し、生徒の考える力を伸ばす指導について1月16日に研究発表会を行う予定である。本年度、新たに小金井第二小学校を「わかる・できる・活かす」授業改善推進指定校に指定した。

小金井第二中学校は、昨年度に引き続き、東京都人権尊重教育推進校である。2年目の今年度は1月29日に研究発表会を予定している。

東小学校は、昨年引き続き、OJT推進校としてOJT実施体制の構築に関する研究を深めていただく。

緑小学校及び南小学校は、東京教師養成塾教師養成指定校に指定されている。教師養成塾生を担当し育成していただく。

平成25年度の東京都の新規事業の理数フロンティア校として、南小学校及び南中学校が指定されている。理数フロンティア校は、区市町村に小学校50校、中学校50校を指定し、サイエンスサポーターが配置される予定である。理数教育の充実を期待している。

4月2日の小金井市教育施策説明会でも教育長からあったように、今年度は地域と連携した学校経営を校長先生に依頼している。このことを研究的に進めてもらう地域連携事業協力校として小金井第一小学校及び緑中学校を指定した。

最後に、東京都のスポーツ推進校として、小金井第一小学校、小金井第三小学校、東小学校、本町小学校、南小学校、南中学校の、小学校5校、中学校1校、合計6校が指定された。

報告は以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

何かご質問はあるか。よろしいか。

鮎川委員長  
職務代理者

理数フロンティア校におけるサイエンスサポーターについてと地域連携事業協力校について、もう少し詳しく教えていただけるか。

河合指導室長

理数フロンティア校についてのサイエンスサポーターというものであるが、区市町村の小学校に50校、中学校に50校、東京都が指定して、予算20万円をつけて、実験だとか、授業取り組みのサポーターの補助を充てるような、そういったものをサイエンスサポーターとして配置ができるということである。

それから、地域連携事業協力校のことでよろしいか。

鮎川委員長  
職務代理者

はい。

河合指導室長　　これについては、そもそも小金井市においては高い教育力がある。それは地域で支えられている部分も多々あるかと思っている。学校はこれまでもたくさんの地域を活用した取り組みをしてまいったが、より一層地域と連携を深め、そしてその地域の力を活用して教育を推進するということである。これまで、そういう窓口などについても各学校ばらばらでやっていったこともあるが、どのように地域の教育力を引き出すか、そんなことも含めて研究をしていくというような内容になっている。

以上である。

鮎川委員長  
職務代理者　　わかった。どうもありがとう。

伊藤委員長　　ちょっと聞き損なってしまったが、サイエンスサポーターというのは、その予算の中で人を入れられるということか。

河合指導室長　　そうである。

伊藤委員長　　わかった。  
ほかにあるか。

高木委員　　地域連携事業協力校であるが、これもやはり予算をつけて何かしら具体的にやっていくということなのか。

河合指導室長　　予算を、例えば学校の中に、PTAの方々とかそういった人たちに集まっていたりするために予算を使っていたら、要は地域のそういう協力をする体制づくりみたいなものに予算を、わずか6万であるが、お金をつけて学校支援を進めていただきたいという内容である。

伊藤委員長　　高木委員の質問の続きであるが、それはその学区域のみということか、それとも、例えば、体育推進委員のようなものを使っていくというような、小金井全市にもかかわるようなものなのか。

河合指導室長      そこについても、地域に限定するわけではなくて、小金井の教育を使うということで、広くいろいろな部分での研究を進めていきたい。それを各学校に広めていきたいということでの研究校である。

伊藤委員長      それぞれの一小と緑中がユニークに考えることだとは思いますが、よりそれが広がるというのか、きっかけになって小金井の地域づくりができていくということを望んでいるわけであるのか。新しい取り組みなので、サポートが大変だとは思いますが、楽しみである。

ほかにあるか。よろしいか。

それでは、次へ行く。報告事項7、図書館運営方針改訂版の策定についてお願いします。

上石図書館長  
補佐      報告事項7、小金井市立図書館運営方針（改訂版）の策定についてご報告する。

昨年11月の教育委員会で改訂版案の中間報告をさせていただきました。前にもお話ししたとおり、今期の図書館協議会委員の皆様にご説明を行ってきた。各担当職員による説明を合計4回したが、また平成25年1月8日から2月12日にかけてパブリックコメントを実施した。その結果、2団体、4個人から27件のご意見をいただいた。そのご意見を参考にさせていただき、また3月28日の図書館協議会にお諮りし、改訂版として了承された。パブリックコメントの結果は、4月1日から各施設に配付し、また図書館のホームページに掲載した。

説明は以上になる。

伊藤委員長      ありがとう。

ご質問、ご意見等あるか。

よろしいか。私は1つだけ、ありがたいなと思うのは、サービスの中で、(5)ヤングアダルトに対してそういう場ができたということは、どういうふうになっているのか具体的にはこれからだとは思いますが、コンビニの前で座っていない子どもたちが増えることを期待して、ヤングアダルトという場ができたことを大変ありがたいと思う。ユニークに小金井はそういうところがあって、青少年が憩う場があるというふうになるといいなというふうに思う。ありがとう。



ほかにはいいか。

では、報告事項 8、その他に移るが、学校教育部からほかにあるか。

天野学校  
教育部長 特にない。

伊藤委員長 生涯学習部からよろしいか。

西田生涯学習  
部長兼図書館  
長事務取扱 特にない。

伊藤委員長 それでは、報告事項 9、今後の日程について願います。

倉澤庶務課  
庶務係長 教育委員会の今後の日程について報告する。  
平成 25 年度教育施策連絡会が、4 月 12 日金曜日午後 2 時から東京都庁第一本庁舎 5 階大会議場で開かれる。全委員の出席を願います。

小金井第一中学校「I 組」「G 組」開級式が、4 月 23 日火曜日午前 9 時 30 分から第一中学校特別支援学級でとり行われる。全委員の出席を願います。

平成 25 年度東京都市町村教育委員会連合会第 1 回常任理事会・第 1 回理事会が、5 月 2 日木曜日午後 1 時から東京自治会館第 8 会議室・大会議室で開かれる。こちらは委員長の出席を願います。

第 5 回教育委員会定例会が、5 月 14 日火曜日午後 1 時 30 分から 801 会議室で開かれる。全委員の出席を願います。

東京都市町村教育委員会連合会第 57 回定期総会が、5 月 23 日木曜日午後 2 時 30 分から東京自治会館講堂で開かれる。全委員の出席を願います。

第 6 回教育委員会定例会が、5 月 28 日火曜日午後 1 時 30 分から 801 会議室で開かれる。全委員の出席を願います。

平成 25 年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会が、5 月 31 日金曜日午後 1 時から茨城県つくば市つくば国際

会議場で開かれる。全委員の出席をお願いする。

報告は以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

よろしいか。

それでは、以上で報告事項を終了させていただく。

以上で、本日の日程は全て終了した。これをもって平成25年第4回教育委員会定例会を閉会とする。昨日は小学校、本日は中学校の入学式が無事に済んだ。いろいろありがとう。

閉会 午後2時15分